

■社員教育

環境に関する社員教育は職場単位で実施し、教育計画の作成とその実施状況を記録しています。教育の主な資料はローム環境管理室作成の「環境管理ハンドブック」であり、環境関連法から日常の環境活動までが詳細に記載されています。

また、ISO14001規格要求としての環境方針と、環境目的・目標については全社員に「環境基本方針カード」と「環境目的及び目標カード」を配布し、必要なときはいつでも確認できるように携帯させています。(環境方針と目的・目標の詳細はP.3にあります)



環境方針カード



目的・目標カード(表)



警備員への環境方針教育 (RED)



目的・目標カード

■啓発活動

世界環境デーのある毎年6月を環境月間としてロームグループ環境連絡会議を開催するとともに、期間中に環境に関連したポスターや環境スローガンをロームグループ各社で募集し、そのコンクールを実施しています。

毎年応募数が増加するとともに、作品の内容も地球環境を真剣に捉えたものが増加しています。



環境月間行事 環境ポスターコンクール

■内部環境監査員教育

内部環境監査員の社内登録基準はISO14001公式環境審査員及び内部環境監査員養成講座の受講者や社内にて実施する監査員養成講座受講者ですが、登録者には定期的にフォローアップ教育を実施し監査員としての監査能力維持向上に努めています。

ロームグループでは毎年重点監査項目を設定し内部監査を実施しています。

2008年度の重点監査項目は「過去3年間の監査における指摘事項の改善・展開状況についての確認」とし、監査を実施するにあたり、事前に登録監査員に対し「法規制」「お客さまのグリーン調達要求基準」「ロームグループ共通の環境負荷物質管理」についての教育を実施しロームグループ各社の監査を実施しました。










環境教育 (2008) REDA

■環境関連国家資格取得促進

社員には教育の仕上げとして、また自己啓発を促進する意味で国家資格の取得を推奨しています。取得に対する自習の機会や費用面はすべて会社負担としていますので、社員は積極的に資格取得に挑戦しています。

■環境関連国家資格取得者数

大気公害防止管理者	 48名
水質公害防止管理者	 81名
騒音公害防止管理者	 33名
振動公害防止管理者	 13名
エネルギー管理士	 48名
エネルギー管理員	 12名
特別管理産業廃棄物管理責任者	 71名

(2009年4月現在)